

次のうちいずれか一つを用いる。

すべての命と力の源なる神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。どうか、わたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようになってください。父と聖霊とともに、賛美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠にみ子にありますように アーメン

全能の神よ、あなたは独りのみ子を死からよみがえらせ、永遠の命の門を開いてくださいました。どうか、み子の復活を祝うわたしたちを、聖霊によって罪の死から命によみがえらせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

使徒言行録

朗読者 「使徒言行録は第十章三四節から」

34そこで、ペトロは口を開きこう言った。「神は人を分け隔てなさらぬことが、よく分かりました。35どんな国の人でも、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受け入れられるのです。36神がイエス・キリストによって——この方こそ、すべての人の主です——平和を告げ知らせ、イスラエルの子らに送ってくださった御言葉を、37あなたがたはご存じでしょう。ヨハネが洗礼を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事です。38つまり、ナザレのイエスのことです。神は、聖霊と力によってこの方を油注がれた者となさいました。イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人々たちをすべていやされたのですが、それは、神が御一緒だったからです。39わたしたちは、イエスがユダヤ人の住む地方、特にエルサレムでなさったことすべての証人です。人々はイエスを木にかけて殺してしまいました。40神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。41しかし、それは民全体に対してではなく、前もって神に選ばれた証人、つまり、イエスが死者の中から復活した後、御一緒に食事をしたわたした

ちに対^{たい}してです。42そしてイエスは、御自分^{ごじぶん}が生^いきている者^{もの}と死^しんだ者^{もの}との審判者^{しんはんしや}として神^{かみ}から定め^{さだ}められた者^{もの}であることを、民^{たみ}に宣^{のたま}べ伝え、力強^{ちからつよ}く証^{あか}しするようにと、わたしたちにお命^{めい}じになりました。43また預言者^{よげんしや}も皆^{みな}、イエスについて、この方^{かた}を信^{しん}じる者^{もの}はだれでもその名^なによって罪^{つみ}の赦^{ゆる}しが受^うけられる、と証^{あか}ししています。」

朗読者 「使徒言行録を終^おわります。」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第二一八編 十四〜十七、二二〜二四節

14 主^{しゅ}はわたし^{わたし}の力^{ちから}、わたし^{わたし}の歌^{うた}＝ 神^{かみ}こそわたし^{わたし}の救^{すく}い
15 喜^{よろこ}びと勝利^{しょうり}の叫^{さけ}びが正^{ただ}しい人^{ひと}の天幕^{てんまく}にある＝ 「主^{しゅ}の右^{みぎ}
の手^ては力^{ちから}を示^{しめ}す
16 神^{かみ}の右^{みぎ}の手^ては高^{たか}く上^あがり＝ その右^{みぎ}の手^ては力^{ちから}を示^{しめ}す」
17 わたしは生^いき長^{なが}らえて死^しぬことなく＝ 主^{しゅ}のみ業^{わざ}を告^つげ
18 知らせよう
19 家^{いえ}造^{つく}りの捨^すてた石^{いし}が＝ 隅^{すみ}のかしら石^{いし}となった
20 これは主^{しゅ}のみ業^{わざ}＝ 人^{ひと}の目^めには不^ふ思議^{しぎ}なこと
21 今日^{きょう}こそ主^{しゅ}が造^{つく}られた日^ひ＝ この日^ひをともに喜^{よろこ}び祝^{いわ}お

う

使徒書

朗読者 「使徒書はコロサイの信徒^{しんと}への手紙^{てがみ}第三章^{しやう}一節^{せつ}か
19」

1 さて、あなたがたは、キリストと共に復活^{ふっかつ}させられたの
ですから、上^{うへ}にあるものを求めなさい。そこでは、キリスト
が神^{かみ}の右^{みぎ}の座^ざに着^ついておられます。2 上^{うへ}にあるものに心^{こころ}を留^{とど}
め、地上^{ちじやう}のものに心^{こころ}を引^ひかれなようにしなさい。3 あな
たがたは死^しんだのであって、あなたがたの命^{いのち}は、キリスト
と共に神^{かみ}の内に隠^{かく}されています。4 あなたがたの命^{いのち}であ
るキリストが現^{あらわ}れるとき、あなたがたも、キリストと共に
栄光^{えいこう}に包^{つつ}まれて現^{あらわ}れるでしょう。

朗読者 「使徒書を終^おわります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

司祭 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二〇章一節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」

1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラの
マリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるの
を見た。2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イ
エスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行っ
て彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置
かれているのか、わたしたちには分かりません。」3 そこで、
ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。4
二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速
く走って、先に墓に着いた。5 身をかがめて中をのぞくと、
亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。
6 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布
が置いてあるのを見た。7 イエスの頭を包んでいた覆いは、
亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。
8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、
見て、信じた。9 イエスは必ず死者の中から復活されるこ
とになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解してい
なかったのである。10 それから、この弟子たちは家に帰っ
て行った。